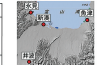
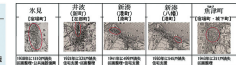


第1編 大火復興事業の政策過程	第2編 土地所有・宅地形態にみる換地後の社会構造の変容
第1章 罹災把握と復興事業の政策過程	第4章 街区・宅地形態の前後比較
第2章 都市計画（区画整理）事業	第5章 土地所有にみる社会構造
第3章 住宅支援政策	第6章 換地設計の過程と前後比較

第3編 町並と建築空間
第7章 家連動の集合形式と町並景観
第8章 住宅の平面類型 / 住居形態
第9章 寺社境内地と復興
第10章 景観と町並順にみる社会空間構造



研究の構成 (1編：行政文書→2編：土地台帳→3編：遺構)

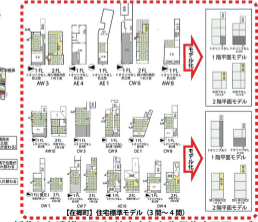
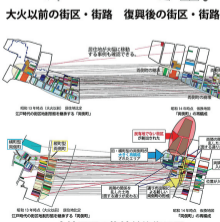
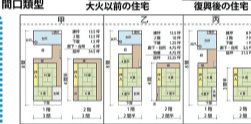
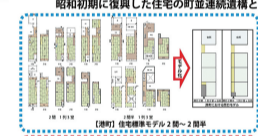
研究対象の5市街

研究対象の位置



県下法務局の3支局で収集した旧土地台帳 (約4000筆)

【港町】 新築の土地所有 (坪数) 【在郷町】 井波の土地所有 (坪数)
旧土地台帳より土地所有者規模から被災5市街の地域社会構造を検討



採集した遺構平面と抽出された復興住宅平面モデル

大火以前の神興と巡行路 区画整理後の神興と巡行路 (巡行路変容にみる地域コミュニティの変容)